様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　１０月　３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001500
事業所名	グループホーム名古屋中川の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	自治会に加盟しており、回覧板も廻ってきています。大正琴、手品、盆踊りのボランティアの来訪や地域高齢者との食事会など、これまで積み重ねてきたご縁は全て中止となり、また前回外部評価を通じて目標としていた「清掃活動への参加」も未だ実現できていません。行事で交流のある園児たちが散歩で通ると「おばあちゃ～ん」と手を振ってくれるのが一つのふれあいとして、嬉しい毎日です。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	いきいき支援センター・民生委員・薬剤師（取引薬局）・利用者・管理者・職員とメンバーを揃え、奇数月の隔月開催を重ねてきた運営推進会議は、2月・5月・7月・9月を外部者が集まらない方法としています。管理者が2ヶ月分の活動内容を書面化、各メンバーに郵送して意見を得られてはいますが、例えば薬剤師には目薬の注し方を講話してもらえるなど恩恵が深い集まりとなっているため、終息が待たれています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	現在、生活保護受給者を12名受け入れています。上限を設けていないため、今後も行政からの依頼には応える予定です。担当部署からも年1回は来訪のうえ面談があり、事業所も区分変更や助成金などで民生子ども課保護係りに月1回は出向いて連携を図っています。コロナが終息しないと無理ですが、「認知症サポーター養成講座」「認知症カフェ」などいきいき支援センターには相談したいことが溜まっています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族は少なくとも月1回は面会に訪れてくださっていましたが、現在は自粛してもらっています。外出の為にリフト付きやパワーアシストの車輛に変えてくれた家族もいて有難い一方で、生活保護受給者の内4名は身寄りがないため、家族に代わって職員が気持ちの面でも支えています。話し好きな利用者が多く、散歩やお風呂で吐露くださったことは「介護詳細」「申し送りノート」に残し、職員間で共有しています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										